

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	砂防等事業（通常砂防事業）					
地区名	くわばらほら 桑原洞					
事業箇所	愛知県豊田市桑原町 ^{くわばらちよう} 地内					
事業のあらまし	<p>桑原洞は、愛知県の西三河地方、豊田市北東部（旧稲武町^{いなぶちよう}）の桑原町に位置する土石流危険溪流である。流域の地質は風化した花崗岩からなり、荒廃が著しく、不安定土砂が堆積しているため、豪雨等の出水時には土石流発生の危険がある。</p> <p>土石流氾濫想定範囲内には、一般国道 153 号（第 1 次緊急輸送道路）、人家 41 戸及び稲武中学校などが存在している。そのため、本溪流に砂防えん堤工及び溪流保全工を整備したものであり、2006 年に着手し 2020 年に完了した。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>一般国道 153 号（第 1 次緊急輸送道路）、人家 41 戸、稲武中学校などを土砂災害から保全する。</p> <p>【副次目標】</p> <p>なし</p>					
事業費	事業費		内訳			
	6.8 億円		□工事費 6.1 億円、□用補費 0.1 億円、□その他 0.6 億円			
事業期間	採択年度	2005 年度	着工年度	2006 年度	完成年度	2020 年度
事業内容	砂防堰堤工 3 基 溪流保全工 273m					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>砂防設備は現在も健全な状態を保っており、さらに、流域や溪床の状況にも変化はみられない。また、同様の機能を有する砂防設備により被害を防いだ事例が全国的に報告されていることから、一般国道 153 号、人家 41 戸及び稲武中学校などを土石流による土砂災害から保全すると判断できる。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>施設整備が完了し、砂防設備により土砂災害防止効果が期待できるため、事業目標を達成している。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>該当なし</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>該当なし</p>				

②事業効果の 発現状況	【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】			
			事業採択時	実績
	事業期間		2006年～2013年	2006年～2020年
	事業費 (億円)	調査設計費	0.9億円	0.6億円
		工事費	5.0億円	6.1億円
		用地補償費	0.5億円	0.1億円
		合計	6.4億円	6.8億円
	効果の 算定要因	保全対象人家	41戸	41戸
		中学校	1箇所	1箇所
		国道、市道	1.38km	1.38km
【事業期間に対する評価】 2号、3号えん堤において、地権者の理解が得られず、買収に不測の時間を要したこと及び工事用進入路に隣接する地権者との調整に時間を要したことにより7年の期間延長が生じた。				
【事業費に対する評価】 事業採択時と比較し、大きな差異はなく、ほぼ計画どおり完了できた。				
【効果の算定要因に対する評価】 存在する人家の戸数や道路の形態に変化は見られない。従って、保全する対象は事業採択時のままであり、事業効果は概ね計画どおり発現していると評価できる。				
③事業実施による環境の変化	保全する対象は事業採択時のままであり、存在する人家の戸数や道路等の環境に変化はない。 工事施工に伴い実施する樹木伐採や地形改変を必要最小限に抑え、また施工により生じた法面には緑化を施している。事業完了から数年が経過した現在では、順調に植生が回復しており、環境への影響は最小限に止められたと判断する。			
Ⅲ 対応方針（案）				
今後の事後評価の必要性	事業目標を達成しており、事業の有効性が認められるため、今後の事後評価は不要と考えられる。			
改善措置の必要性	事業目標を達成しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はないものと考えられる。			
同種事業に反映すべき事項	事業実施段階での詳細な調査及び事業内容の精査により、計画内容に変更が生じ、事業期間や事業費の増加が生じた。今後は、こうした要因が存在することを念頭に置くとともに、早期確認により手戻りのない計画を行うことで、円滑な事業進捗につなげることが重要である。			
Ⅳ 事業評価監視委員会の意見				
桑原洞の対応方針（案）[改善措置等必要なし]を了承する。				
Ⅴ 対応方針				
改善措置等必要なし				